

本 田 水 産 を 子 会 社 化

バ ロ ー H D、海 産 物 調 達 強 化

バローホールディングス(HD)は5日、水産加工業の本田水産(宮城県石巻市)を同日付で完全子会社化した、と発表した。カキやサバなどの加工品を手掛け、良質な漁場を仕入れルートに持つほか、加工技術にも優れている。海水温の上昇に伴う漁場の変化や、大消費地の中国を中心とした世界的な需要拡大が進む中、調達の安定化を図り、商品力向上に努める。

本田水産の本田社長が保有する同社の発行済み全株式を取得した。取得価額は非公表。同社は宮城県の石巻漁港、女川漁港を仕入れルートに持ち、カキの薫製やシメサバなどの商品を生産工場に加え、販売している。2016年7月期売上高は約6億9千万円。社長は本田氏が統括する。

バローHDとの取引はなかったが、百貨店の向けに販売ルートを持つ良質な味も強みの一つで、スーパーマーケットの商品力向上に寄与する。

バローHDは、既にマグロ加工品を手掛けるダイエルフーズ(三重県四日市市)を連結子会社化しており、水産加工業の子会社は2社目。今回の株式取得で、水産物の調達・加工体制を強化し、店舗の収益を改善する。